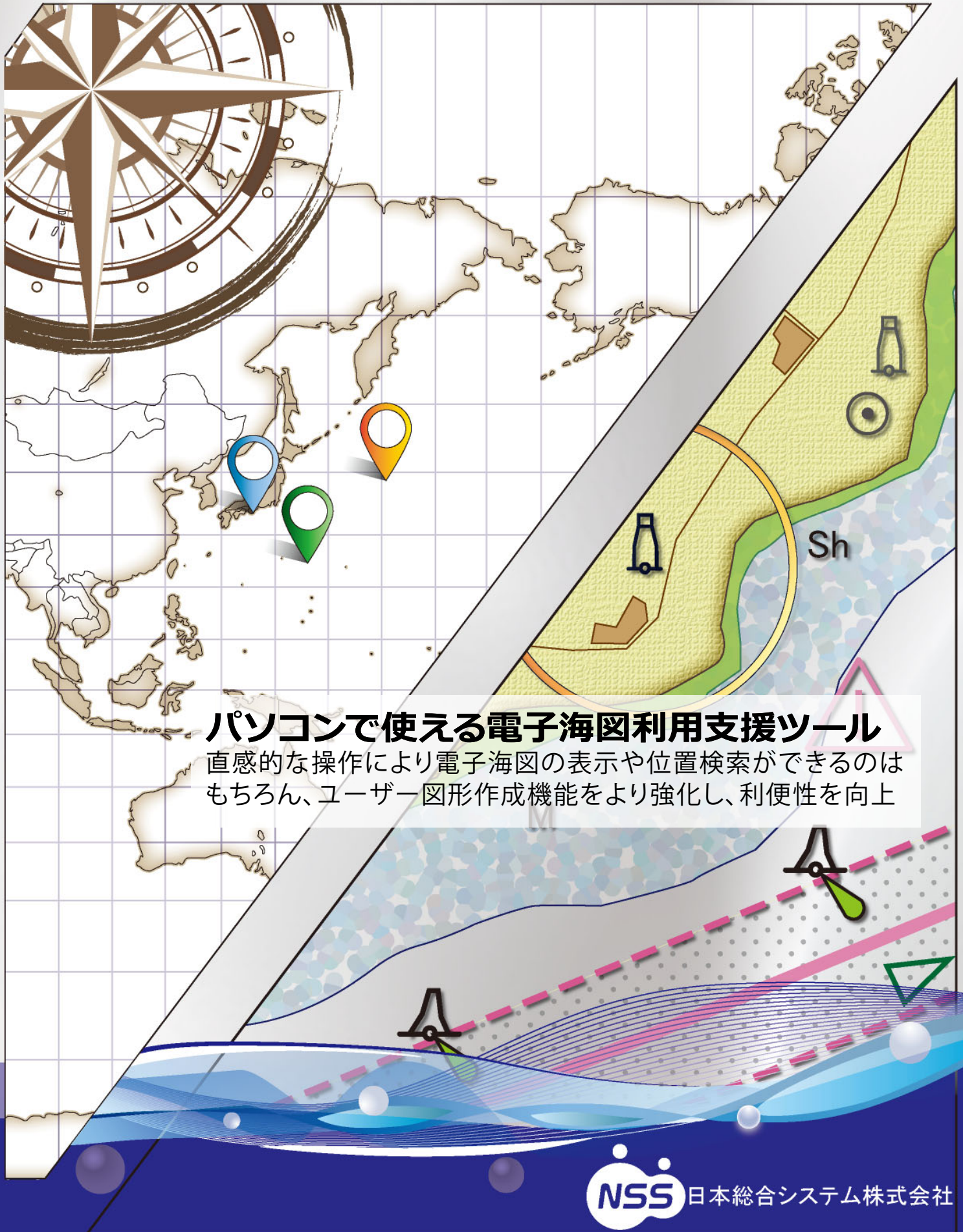




# ChartRescue®

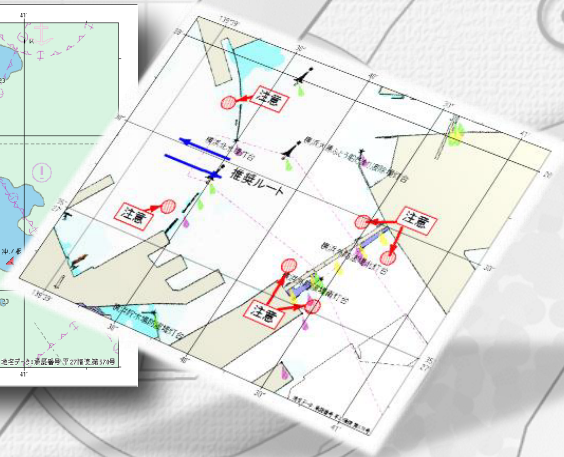
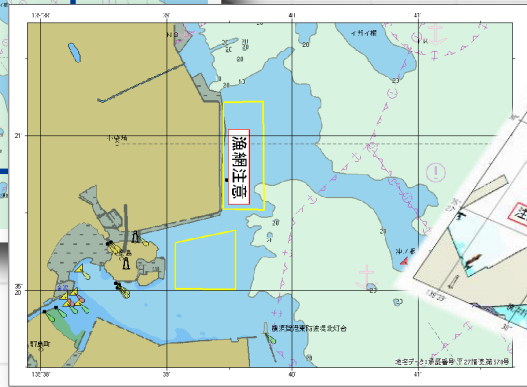
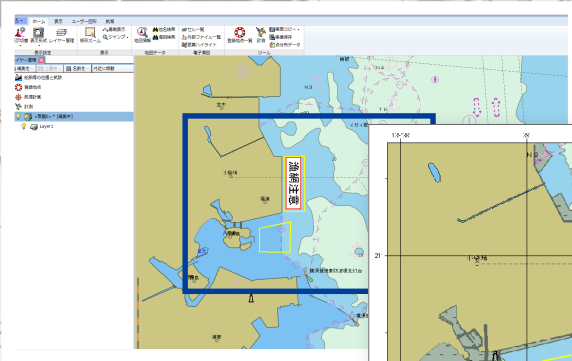
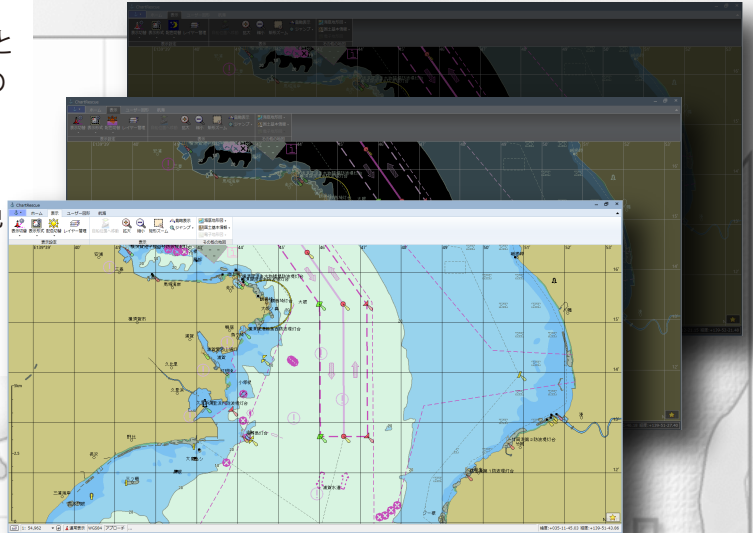


## パソコンで使える電子海図利用支援ツール

直感的な操作により電子海図の表示や位置検索ができるのはもちろん、ユーザー図形作成機能をより強化し、利便性を向上

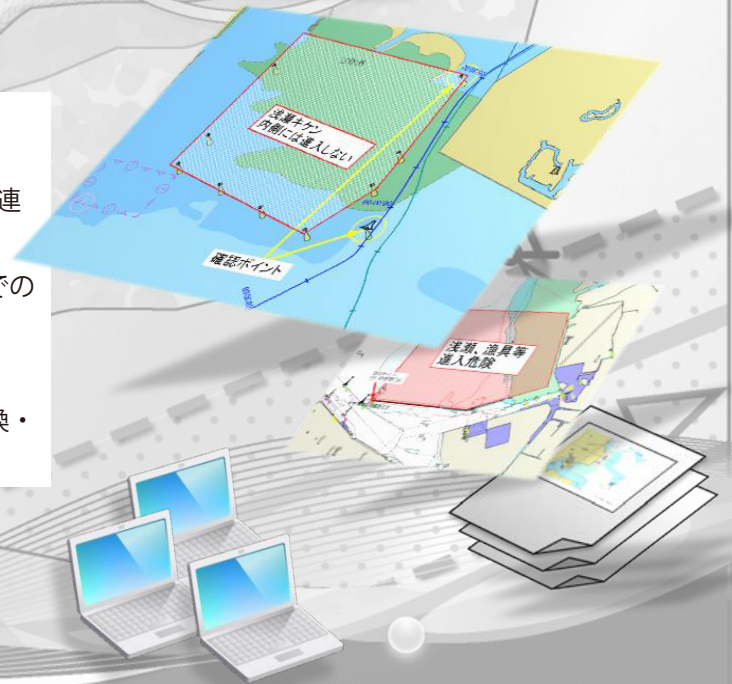
## 航海用電子海図(ENC)の利用

- 2種類の表示形式  
航海用電子海図(ENC)を元に、電子海図形式(国際規格S-52)と紙海図形式(海上保安庁が定める図式6011および世界標準のINT1をベース)で表示
- 昼/薄暮/夜の3種類の表示配色(自動または手動で切替)
- 用途に合わせた海図情報の表示/非表示、表示色変更(表示色の変更は紙海図形式のみ)
- 全世界のENCに対応
- 各セルの契約状況、更新状況の確認が可能



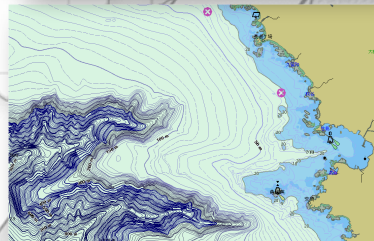
## ドキュメント作成支援

- 作成可能な図形:線・エリア・円・円弧・文字  
線種、色(線、塗り)、塗りパターンなどの設定が可能
- ビットマップ画像をマークとして配置し、文書やWebサイトの関連付けが可能
- 作図後は任意区域を画像として保存することができ、他ツールでの資料作成やホームページ作成等の二次利用が可能
- 経緯度値の目盛を付加したイメージ出力
- 作成した図形はファイルとして保存の上、複数のユーザーで交換・共有が可能



## 電子海図と他の地図情報の重畳

- 電子海図以外の地図データ(別売※)を取り込み、電子海図と重畳表示が可能  
※数値地図(国土地理院刊行)、海底地形デジタルデータ(一般財団法人日本水路協会刊行)等
- 多くのGISソフトウェアで利用が可能なシェープファイルにも対応



### 対応地図データ

製品名	提供形式	対応しているデータ形式
数値地図 (国土基本情報)	DVD版/オンライン版	<ul style="list-style-type: none"> <li>JPGIS2.1準拠のXML形式(GML)</li> <li>シェープファイル形式</li> </ul>
数値地図 (国土基本情報20万)	オンライン版	<ul style="list-style-type: none"> <li>JPGIS2.1準拠のXML形式(GML)</li> <li>シェープファイル形式</li> </ul>
電子地形図25000	DVD版/オンライン版 (定形図郭版)	<ul style="list-style-type: none"> <li>TIFF</li> <li>JPEG</li> </ul>
電子地形図20万	オンライン版	<ul style="list-style-type: none"> <li>TIFF</li> <li>JPEG</li> </ul>
海底地形デジタルデータ	CD/DVD版	<ul style="list-style-type: none"> <li>アスキーファイル形式</li> <li>シェープファイル形式</li> </ul>

※ 対応しているデータ形式の最新情報についてはお問い合わせください

## 航路計画・航海記録

- ECDIS相当の航路チェック機能で安全な航路作成を支援  
(国際規格 S-52に対応)
- 作成した航路のエクスポート・インポートが可能(旧製品でエクスポートした航路ファイル含む)
- 航路にはグループの設定、変針点には名称・物標(目印)などの設定が可能
- 過去のログ(航海履歴として保存)を画面上で再現・表示
- ログのエクスポート・インポート
- 旧製品の航跡ログファイルのインポートも可能
- 避険線を作成し、任意の線または区域で航行警告を表示

## ナビゲーション

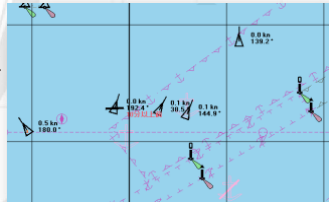
- タッチパネル搭載ノートPC、タブレットPCに対応  
(Windows 8.1以降)
- GPS/AIS信号をLAN、COM(仮想COM)から入力  
※AIS信号の入力にはAIS表示オプション(別売)またはAIS情報解析オプション(別売)が必要です。
- タブレットPCのデバイス内蔵GPSにも対応  
※デバイス内蔵GPSの性能により十分な精度を得られない場合がありますのでご注意ください。  
※使用できるデバイス内蔵GPSの仕様は動作環境をご参照ください。
- GPS接続中または航跡ファイル再現中はノースアップ、ヘッドアップ表示切替が可能
- 出発時刻と到着予定時刻、または平均速力を設定することにより、航路上の各変針点への到着時刻を計算
- 航行中は常に自船前方の危険障害物等を自動的に検出  
(国際規格S-52に対応)

## その他の機能

- 表示言語:日本語・英語
- お気に入り:よく使用する表示海域の位置、縮尺を登録
- 計測:距離、面積の計測(大圏による計測)
- 検索:陸上または電子海図の地名で位置検索  
※海図地名検索には、対象地域の電子海図が必要です。

## AIS表示オプション

- AIS (船舶自動識別装置) からのデータを読み取り、画面上に自船・他船の位置情報を表示します。また、船舶の位置関係によって判定を行い、危険な位置関係にある船舶の存在を知らせます。
- 他船情報は、位置だけでなく船首方位、対地速度なども選択表示できます。
- 自船から一定の距離内に入ると自動的に衝突危険船として強調表示されます。
- 表示条件は状況に応じて見やすく設定することが可能です。
- 他船は、表示色の変更、対地速度、対地針路などの文字情報の表示ができます。特定の船を強調表示し、危険状態を捕捉することも可能です。



## AIS情報解析オプション

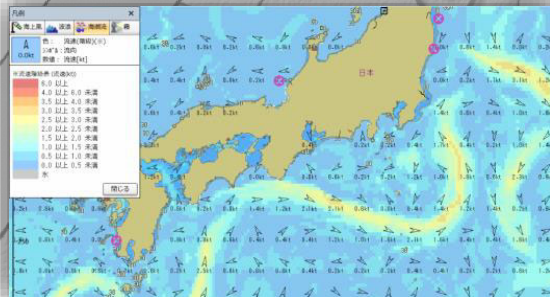
- AIS情報及び蓄積されたログ情報の効果的な活用を支援するオプションです。AIS表示オプションの全機能に、様々な解析機能が加わりました。
- 蓄積されたログ情報から、特定の日時、海域を航行する船舶、国籍や船種で絞り込み、など様々な条件で情報を抽出することができます。また、検索・抽出時には、船舶情報、位置情報をそれぞれの表作成などに便利な形式で別出力もできます。
- 他船航跡を地図上に表示して、交通の様子を一瞥することができます。
- AIS受信中に任意の海域を指定し、船舶の進入や通過を監視し警報を発することができます。
- 他船の航跡表示 (表示する船舶を個別に指定することも可能) の表示形式もより多彩となり、ドキュメントの添付資料等にも活用できます。

## 気象海象オプション

- 気象海象情報を取得し、海図上に表示します。
- 一般財団法人日本気象協会が提供するECoRO-MAPサービスで受信できる気象海象情報に対応しています。(※)
- 気象海象情報の地図上の表示は、種類毎(海上風、波浪、海潮流、霧) 時刻毎に表示を切り替えられます。
- 気象海象情報の受信を定期的に自動で行い、常に最新のデータを表示することができます。
- 作成した予定航路に対して、海潮流(流向・流速) 予測情報を考慮した到着日時を計算します。
- 航路上の各地点における通過予定時刻を気象海象予測情報と合わせて表示します。

※気象海象オプションのご利用には、一般財団法人日本気象協会が提供するECoRO-MAPサービス(費用別途)の契約が必要です。

(2023年1月現在)



## 動作環境

OS	Windows® 10, Windows® 11
CPU	Intel® Core™ i3 と同等以上 (Intel® Core™ i5 と同等以上を推奨)
メモリ	4GB以上 (8GB以上を推奨)
ハードディスク	1GB以上の空き容量 (加えて、地図データに応じた空き容量が必要)
ディスクドライブ	内蔵または外付けのCD/DVDドライブ (ネットワーク、仮想ドライブは動作保証外)
ディスプレイ	解像度1366×768以上 (タブレットPCを利用の場合、10型以上を推奨)
対応GPS機器	Windows内蔵GPS NMEA0183フォーマットでデータ出力が可能な市販のGPS機器

※ハードウェアキーはご購入時にUSBタイプまたはmicroSDカードタイプをご指定ください。

※本製品をご利用になる場合には、別途航海用電子海図(ENC)の購入が必要となります。

お問い合わせ先



## 日本総合システム株式会社

〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-27 後楽鹿島ビル

TEL: 03-5805-3620 FAX: 03-5805-3684

E-mail: chartinfo@nsssys.co.jp URL: <https://www.nsssys.co.jp>